

取扱説明書

バッテリー保温カバー

バッテリー保温カバー

注意

感電の危険：保温カバーを取り付ける前に、バッテリーからコード類を取り外してください。電源は、各国および各地域の電気工事規定に従って適切に接地する必要があります。取り付け後、保温カバーを電源に接続してください。

けが・やけどの危険：感電、やけどを予防するため、使用の際には、プラグやコード露出部などに摩擦や損傷がないことを確認してください。点検などは、本製品を取り外してから行ってください。

注意

過熱の危険：断熱効果のあるバッテリーケースを使用している場合、過熱を防ぐため、サーモスタット付モデルの使用をお勧めします。保温カバーの重複部分が過度に広い、または、何らかの原因でサーモスタットの動作が妨げられていると、バッテリーが過熱状態になることがあります。これによって、バッテリーが損傷したり、バッテリーの消耗を早める可能性があります。

バッテリー損傷：ニッケルカドミウム電池に、本製品を使用することはお勧めしません。

断熱スペースの確保：バッテリーケースなどを使用する場合、HOTSTARTでは、バッテリーとケースの間に、最低 38 mm (1.5 inch) の隙間を持たせることをお勧めしています。

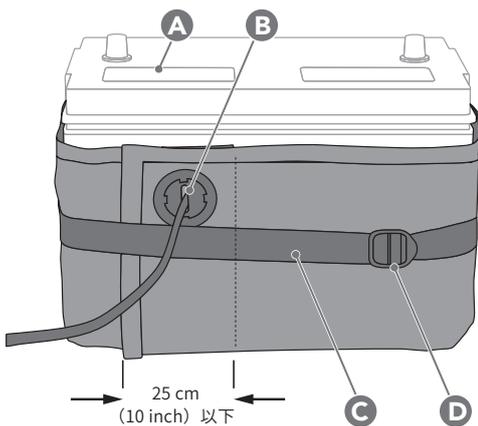


図 1. 保温カバーの取り付け。バッテリー (A)、電源コード (B)、ベルト (C)、バックル (D)。重複部分は 25 cm (10 inch) 以下にする

取り付け方法

1. マイナス端子、プラス端子の順で、接続されたコードを外します。次に、バッテリー本体を取り外します。
2. バッテリーの表面に汚れなどがあれば拭き取ってください。バッテリーケースなどを使用している場合は、それらにも汚れがないことを確認します。
3. 図 2 のように、製品をバッテリーに巻きつけます。**注意！** カバーの重複が、25 cm (10 inch) 以下になるようにしてください。本製品によってコード類が折れたり曲がったりしないよう気を付けてください。



図 2. バッテリーに巻く

4. 固定用ベルトを、バッテリーとカバーの上から取り付けます。次に、ベルトをバックルに通します。図 3 のようにベルトを折り曲げてバックルに通し、ベルトをきっちり締めてください。なお、はみ出たベルトは、邪魔にならないよう固定してください。
5. 電源コードを 3 ピンコネクタに接続します。

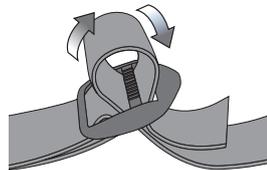


図 3. バックルに通す

6. コードの位置を調整し、適切に固定します。このとき、コー

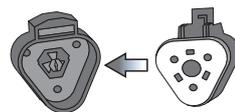


図 4. 電源コードを 3 ピンコネクタに接続する

- ドの上にバッテリーが乗った状態になるのは避けてください。**注意！** 電源コードは、高温になる面や可動する部品に固定しないでください。
7. 元の場所にバッテリーを設置します。プラス端子、マイナス端子の順に、コードを接続してください。本製品を定格電圧に接続します。
8. 2年に1度、製品本体と電気接続部を点検して、損傷がないか、過度な熱をもっていないかを確認してください。